

平成29年度第2回(社会福祉学・社会学・教育学・統計学・体育学)グループ合同会議議事概要  
社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会  
CCC(社会学・教育学・統計学・体育学)グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成29年10月7日(土) 9:30~12:30  
II. 場所 : アルカディア市ヶ谷(私学会館)6階 貴船  
III. 出席者 : 社会福祉学FD/ICT活用研究委員会 山路委員長、戸塚委員、天野委員  
CCC社会学グループ運営委員会 土屋委員、犬塚委員、干川委員  
CCC教育学グループ運営委員会 舟生委員、三尾委員、竹熊委員  
CCC統計学グループ運営委員会 今泉委員  
CCC体育学グループ運営委員会 田附委員  
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

#### IV. 議事概要

##### 1. 開催要項の確定

今泉委員の議事進行により、分野連携アクティブ・ラーニング対話集会の具体的な開催内容について検討を行った。各分野から報告された話題提供案について協議し、また意見交流のテーマ内容の確認と具体的な進め方についての協議確認を行い以下のとおり決定した。

##### (1). 話題提供の内容説明、協議と決定事項

###### ① 社会福祉学分野

・対話集会参加者に対する提案型の内容とし、当日の学生参加についても検討することを確認した。

(話題提供者) 山路 克文 氏 (皇學館大学 現代日本社会学部教授)

(タイトル) 「福祉計画策定のために地域連携を目指したアクティブ・ラーニング」

(内容) 他者の立場を理解するための思考力、判断力、自分の考えを正確に伝える表現力および他者にかかわるために必要な主体性、多様性、協働性を身につける取り組みを目指し、具体的には、2年生を対象にモバイル等を活用し、学生、地域、行政からの情報共有を通じて伊勢市の福祉計画策定に協力しながら地域連携を目指した取り組みと展望を紹介。

###### ② 社会学分野

・ICTをベースにプロジェクト授業として実践提案型の話題提供を行うことを確認した。

(話題提供者) 干川 剛史 氏 (大妻女子大学 人間関係学部教授)

(タイトル) 「アナログ的・デジタル的手法を組み合わせたALによる学力の三要素の養成  
—地域連携・産学連携を事例として—」

(内容) 地域連携・産学連携をテーマに、プロジェクト学修を中心とした社会調査実習およびゼミによる「思考力」「判断力」「表現力」及び「主体性・協働性」の向上・発展への取り組みを紹介。

###### ③ 教育学分野

・教職課程教育における取り組みを紹介、授業改善のための「主体的で対話的な深い学び」について「教育学」という幅広い観点からの提案型内容とすることを確認した。

(話題提供者) 竹熊 真波 氏 (筑紫学園大学 文学部教授)

(タイトル) 「教育学においてICTを活用して主体的な学びに転換するための授業改善の提案」

(内容) 教室外学修でネットを通じて他大学の学生や社会人とフォーラムを形成し課題探求や調べ学修、討論など学びの協働化を実践し、学びの意義を論理的に説明できる力を獲得させる取り組みや構想を紹介

#### ④ 統計学分野

- ・データサイエンス教育の紹介を通じ、授業改善について話題提供することを確認した。  
(話題提供者) 今泉 忠 氏 (多摩大学 経営情報学部教授)  
(タイトル) 「データを基に問題発見・問題解決に取り組むデータサイエンス教育の提案」  
(内容) ICT を活用してデータを客観的・類別的・可視的に表現し、仮説・推論を通じて問題解決に取り組むことで、自己主張できる合理的な判断力を培う取り組みを提案。

#### ⑤ 体育学分野

- ・学生が他大学とネットを活用して議論し課題解決に取り組むことを紹介し、授業改善の提案を行うことを確認した。  
(話題提供者) 來田 享子 氏 (中京大学 スポーツ科学部教授)  
田附 俊一 氏 (同志社大学 スポーツ健康科学部教授)  
(タイトル) 「スポーツの社会的機能を活用して社会の発展に寄与する授業の提案」  
(内容) IOC のオリンピック教材「尊重と他者理解を学ぶ」を踏まえて、ICT を活用して大学間でスポーツを通じた社会の問題解決や国際協調への貢献について考え、表現する取り組みを提案。

#### (2) 意見交流について

意見交流のテーマを以下の3項目に決定するとともに、対話集会当日の役割分担を決定した。今回の対話集会では、参加申込者からのアンケート結果を活かし参加者との積極的な意見交流や、認識の共有を目指すことなど開催要項の詳細を決定した。なお、委員は対話集会における具体的な進め方(シナリオ)を検討する。

- ① 「学力の3要素」を高める ICT を活用した教育・学修方法の工夫・改善
- ② 授業科目の相互改善を促進するための仕組みと ICT 活用
- ③ ICT による外部評価モデルの必要性和仕組み

#### (3) 開催日時と場所

開催日時：平成 29 年 12 月 16 日 (土) 14 : 00～17 : 30

開催場所：早稲田大学 (早稲田キャンパス)

#### V. 今後の予定

事務局は委員にアンケート集計結果を報告し、進行役委員は運営シナリオをまとめる。次回は対話集会とし当日、事前打合せ会を実施することを確認した。